

蟻害・腐朽検査診断報告書

下記の建物に関して、蟻害及び腐朽の検査・診断を行った結果は、この蟻害・腐朽検査診断報告書のとおりです。

記

建物の所在地 _____ (市区町村までを記入のこと)

検査年月日	平成 年 月 日
蟻害・腐朽検査士氏名	
蟻害・腐朽検査士登録番号	() <small>都道 府県</small> () - ()
所属事業所	
所属事業所 住所・連絡先	〒 _____ _____ 電話番号 : _____ F A X : _____

提出日 : 平成 年 月 日

建物概要および増改築等の履歴

検査建物の概要

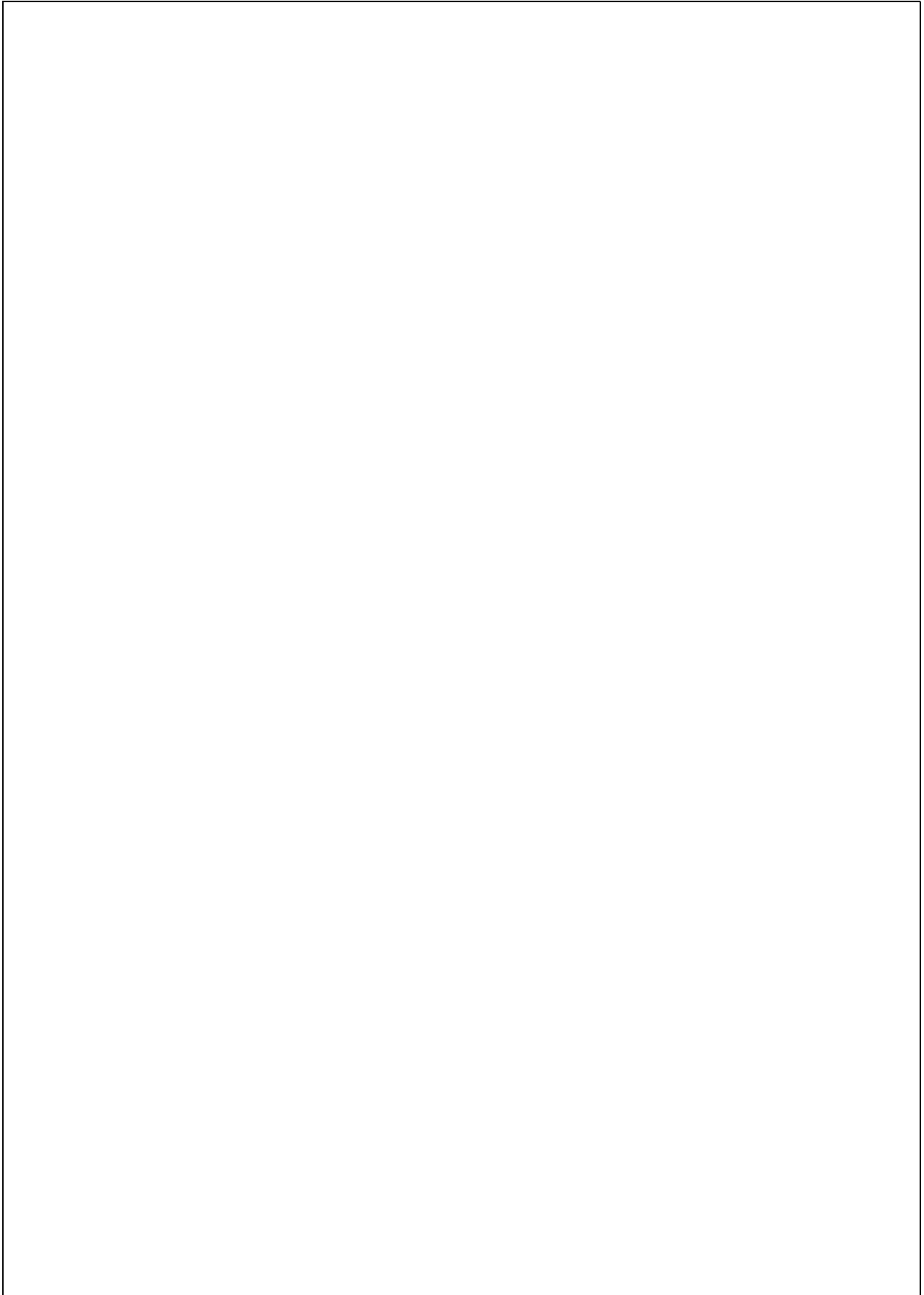
建物構造※	在来軸組構法 枠組壁工法 木質パネル構法 丸太組構法 鉄骨造 RC造 その他 ()
建物階数※	平屋建て 2階建て 3階建て 集合住宅： 階
建物面積※	延べ床面積： m ² 1階床面積： m ² 2階床面積 m ² 3階床面積 m ²
特記事項	

検査建物の履歴

竣工年月（西暦）※	年 月（経過年数 年 ヶ月） 不明
増改築の有無※	なし あり 不明
増改築の時期・箇所 （前項「あり」の場合必須）	年 月（箇所： ） 不明
増改築の時期・箇所 （前項「あり」の場合必須）	年 月（箇所： ） 不明
新築時 防腐・防蟻処理※	なし あり 不明 該当箇所なし
新築後 防蟻・防腐処理履歴	年 月 内容：
新築後 防蟻・防腐処理履歴	年 月 内容：
新築後 防蟻・防腐処理履歴	年 月 内容：
特記事項	_____ _____ _____ _____ _____

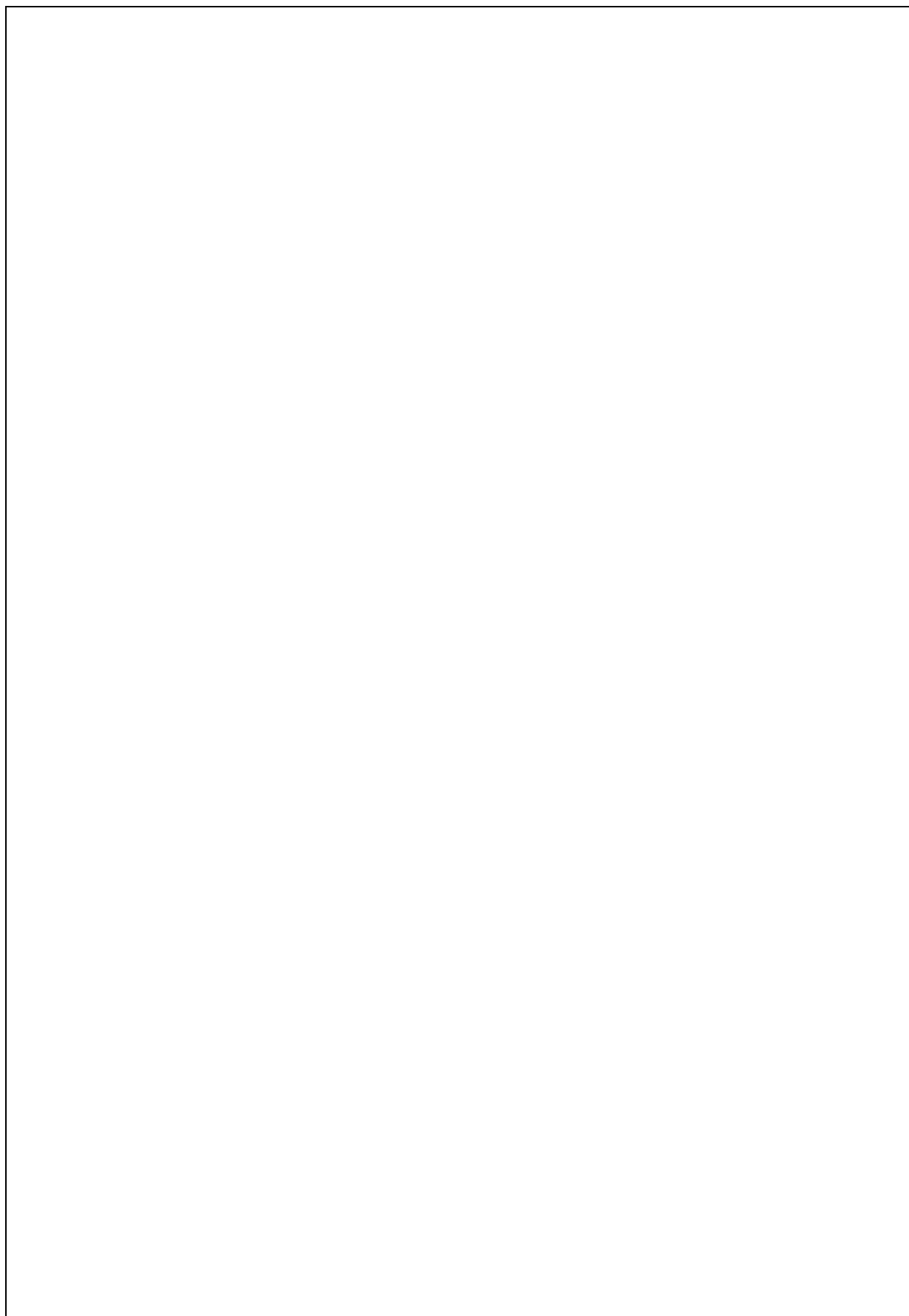
建物概要写真※

- ・写真にはNo.を付記し、間取図にて撮影方向を明記すること（2～4枚程度）



建物概要写真※

- ・写真にはNo.を付記し、間取図にて撮影方向を明記すること（2～4枚程度）



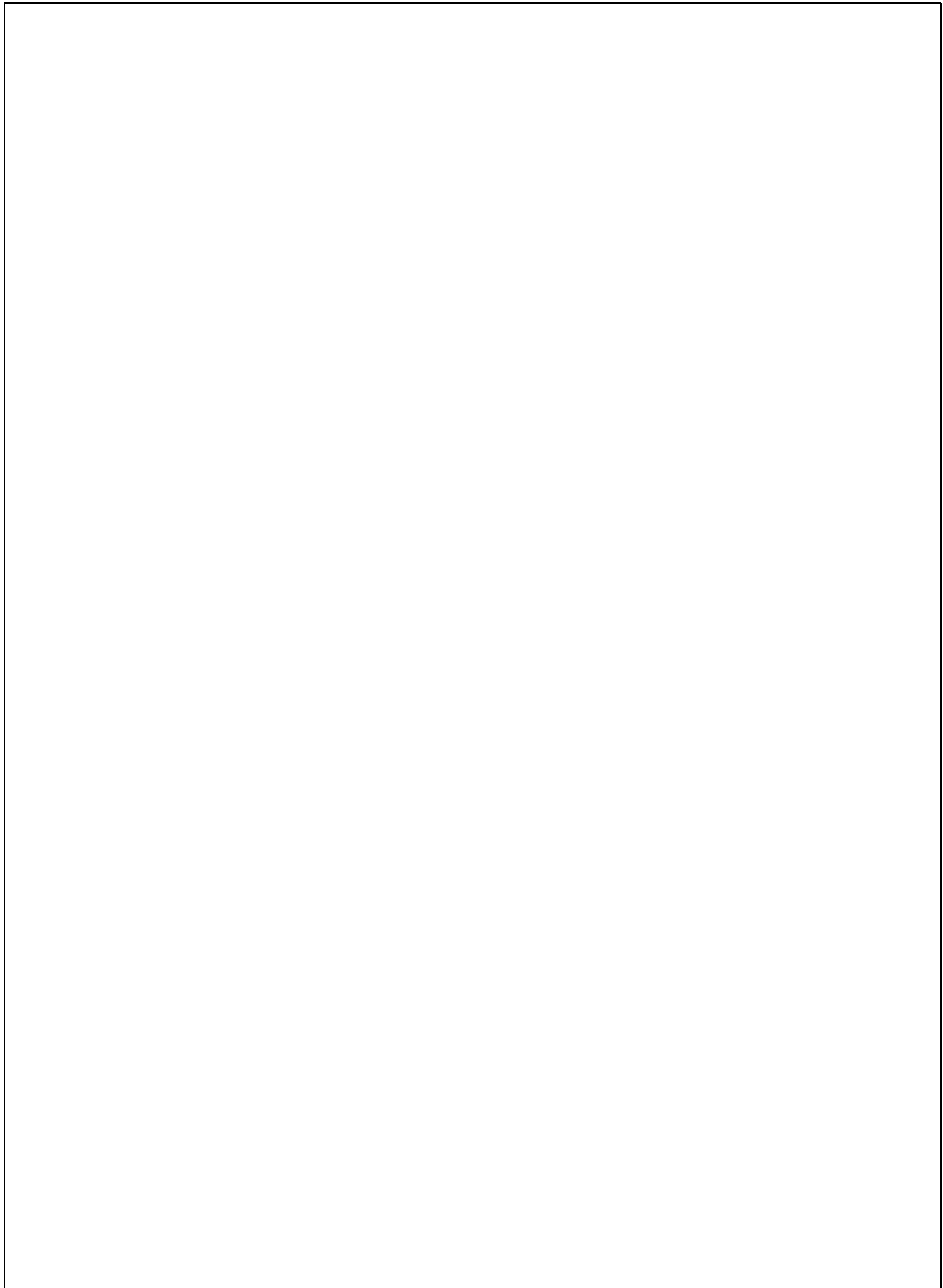
シロアリの食害および腐朽・カビの状況検査結果※

シロアリの種類	被害なし ヤマトシロアリ イエシロアリ 乾材シロアリ ()	
	シロアリの喰害状況	腐朽・カビの状況
建物外周囲 (庭木・木柵)	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 () () ()
建物の外壁等	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 () () ()
[室内]壁・床・建具・家具	食害なし 食害あり 不明 部屋名 () 食害のあった部材 () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 部屋名 () 被害のあった部材 () () ()
[小屋組・天井] (梁・桁・母屋・垂木)	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 () () ()
[床下]床下木部等	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 () () () () ()	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 () () () () ()

全体所見※	

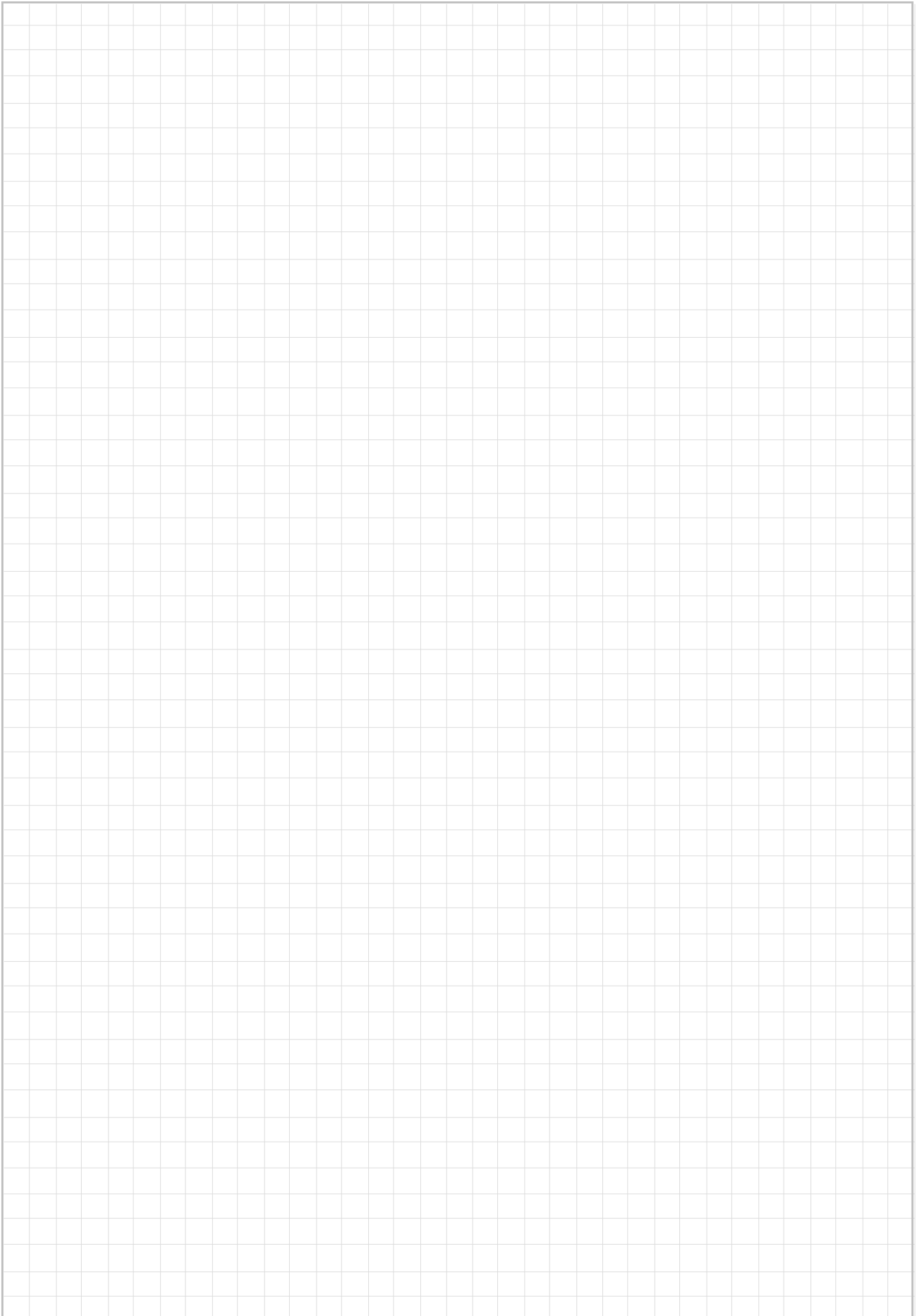
シロアリの食害および腐朽・カビの状況現況写真※

- ・写真にはNo.を付記し、被害部材および状況を記入のうえ間取図にて撮影方向を明記すること



被害状況を記入した間取図※

- ・ 記入例を参照の上、方角および写真No.および撮影方向、検査不能箇所、縮尺を必ず記入のこと
- ・ 被害のあった階の間取図を記入のこと



凡例：蟻害 × 蟻道・蟻土 △ 腐朽 ⊗ 菌糸 ⊕ 子実体 ⊙